

# 宮古市「復興に向けた計画づくりに関するアンケート調査」結果 【藤原地域版】

## 1. 調査概要及び回収状況

### (1) 調査概要

調査方法：郵送による配布、回収  
 調査期間：【発送】平成23年7月8日 【回答の返送締切】平成23年7月26日  
 対象者：被災地域及びその周辺の各世帯  
 配布数：【市全体】6,644世帯 【藤原・磯鶏地域】1,059世帯

### (2) 回収状況(平成23年8月16日時点)

回収数：【市全体】3,200世帯 【藤原・磯鶏地域】462世帯(うち藤原地域180世帯)  
 回収率：【市全体】48.2% 【藤原・磯鶏地域】43.6%

## 2. 集計結果(藤原地域分)

### (1) 回答者の属性

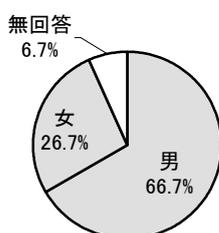
問1：世帯の代表の方についてお聞きします。  
 それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

- 世帯の代表の方にお答えいただいたことにより、「男性」、「70歳代以上」の回答者が多くなっています。また、家族構成は一世代世帯と二世帯世帯をあわせると60%以上を占めています。

ア：性別

	全体		藤原	
	回答数	割合	回答数	割合
男	2,172	67.9%	120	66.7%
女	814	25.4%	48	26.7%
無回答	214	6.7%	12	6.7%
計	3,200	100.0%	180	100.0%

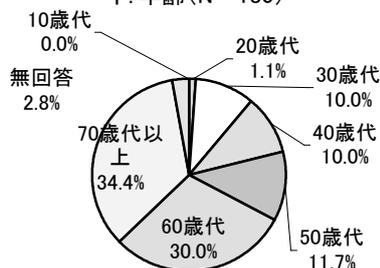
ア：性別(N=180)



イ：年齢

	全体		藤原	
	回答数	割合	回答数	割合
10歳代	1	0.0%	0	0.0%
20歳代	51	1.6%	2	1.1%
30歳代	218	6.8%	18	10.0%
40歳代	393	12.3%	18	10.0%
50歳代	572	17.9%	21	11.7%
60歳代	875	27.3%	54	30.0%
70歳代以上	1,050	32.8%	62	34.4%
無回答	40	1.3%	5	2.8%
計	3,200	100.0%	180	100.0%

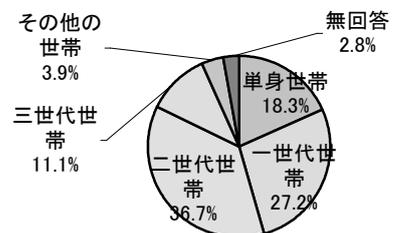
イ：年齢(N=180)



ウ：現在の家族構成

	全体		藤原	
	回答数	割合	回答数	割合
単身世帯	592	18.5%	33	18.3%
一世代世帯	786	24.6%	49	27.2%
二世帯世帯	1,142	35.7%	66	36.7%
三世帯世帯	425	13.3%	20	11.1%
その他の世帯	194	6.1%	7	3.9%
無回答	61	1.9%	5	2.8%
計	3,200	100.0%	180	100.0%

ウ：現在の家族構成(N=180)



- 現在のお住まいが震災前とは別の方においては、「民間賃貸住宅」の割合が最も高く、次いで「仮設住宅」となっています。

エ:現在の住まい

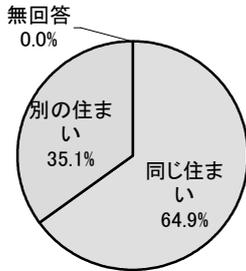
	全体		藤原	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ住まい	993	36.8%	111	64.9%
別の住まい	1,672	61.9%	60	35.1%
無回答	35	1.3%	0	0.0%
計	2,700	100.0%	171	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた  
2,700人(藤原171人)を対象

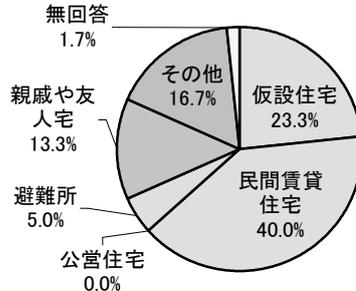
	全体		藤原	
	回答数	割合	回答数	割合
仮設住宅	793	47.4%	14	23.3%
民間賃貸住宅	368	22.0%	24	40.0%
公営住宅	78	4.7%	0	0.0%
避難所	33	2.0%	3	5.0%
親戚や友人宅	177	10.6%	8	13.3%
その他	214	12.8%	10	16.7%
無回答	9	0.5%	1	1.7%
計	1,672	100.0%	60	100.0%

※[エ]で「別の住まい」と回答  
した1,672人(藤原60人)を対象

現在の住まい



別の住まい(内訳)



- 震災前に仕事に就いていた方の職業は「販売・サービス業」、「製造業・建設業」が多く、職場については約40%が「藤原・磯鷄」となっています。
- 震災前に仕事に就いていた方のうち、震災後に何らかの変化(休業、廃業、退職、失業)があったと回答した方は、約40%となっています。

オ:震災前の仕事

	全体		藤原	
	回答数	割合	回答数	割合
農林業	28	0.9%	0	0.0%
漁業	371	11.6%	12	6.7%
製造業・建設業	447	14.0%	33	18.3%
販売・サービス業	618	19.3%	35	19.4%
公務員・団体職員	280	8.8%	16	8.9%
主婦(夫)	137	4.3%	5	2.8%
学生	1	0.0%	1	0.6%
無職	985	30.8%	65	36.1%
その他	263	8.2%	11	6.1%
無回答	70	2.2%	2	1.1%
計	3,200	100.0%	180	100.0%

カ:震災前の職場の場所

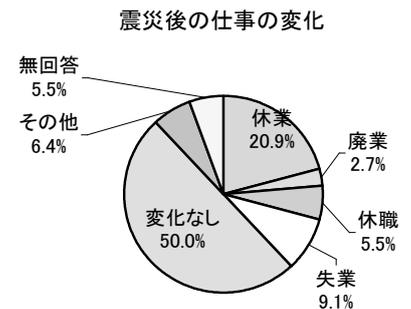
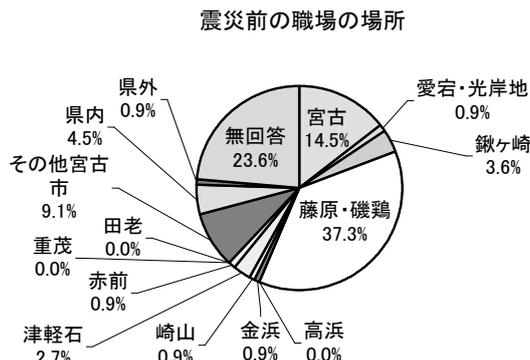
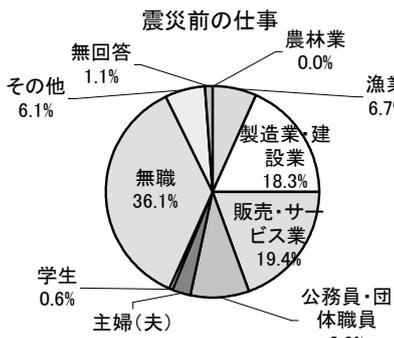
	全体		藤原	
	回答数	割合	回答数	割合
宮古	418	20.1%	16	14.5%
愛宕・光岸地	51	2.5%	1	0.9%
鍛ヶ崎	144	6.9%	4	3.6%
藤原・磯鷄	177	8.5%	41	37.3%
高浜	34	1.6%	0	0.0%
金浜	26	1.3%	1	0.9%
崎山	37	1.8%	1	0.9%
津軽石	78	3.8%	3	2.7%
赤前	66	3.2%	1	0.9%
重茂	59	2.8%	0	0.0%
田老	233	11.2%	0	0.0%
その他宮古市	141	6.8%	10	9.1%
県内	85	4.1%	5	4.5%
県外	43	2.1%	1	0.9%
無回答	486	23.4%	26	23.6%
計	2,078	100.0%	110	100.0%

※[オ]の主婦(夫)、無職を除いた  
2,078人(藤原110人)を対象

キ:震災後の仕事の変化

	全体		藤原	
	回答数	割合	回答数	割合
休業	396	19.1%	23	20.9%
廃業	138	6.6%	3	2.7%
退職	99	4.8%	6	5.5%
失業	182	8.8%	10	9.1%
変化なし	895	43.1%	55	50.0%
その他	182	8.8%	7	6.4%
無回答	186	9.0%	6	5.5%
計	2,078	100.0%	110	100.0%

※[オ]の主婦(夫)、無職を除いた  
2,078人(藤原110人)を対象



## (2) 震災前の住まい、今後の住まいについて

問2：震災前のお住まいについてお聞きします。

それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

問3：今後の住まいをどのようにお考えですか。

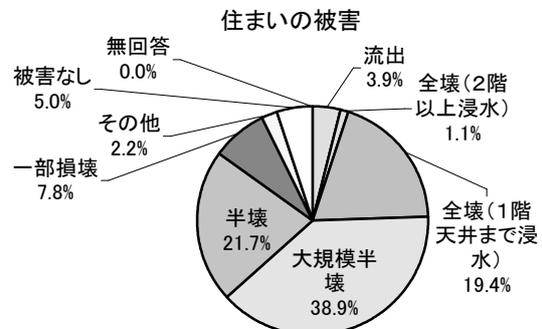
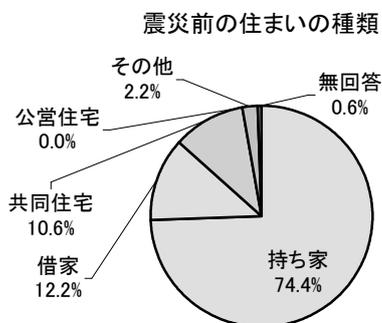
- 震災前の住まいのほとんどが「持ち家」となっています。
- 住まいの被害については、「流出」、「全壊」、「大規模半壊」の被害を受けている方が、回答者の60%以上を占めています。
- 今後の住みたい場所については、「同じ場所」に住みたいと考えている方が45.6%を占めています。(4ページ)
- 今後の住まいとしては、半数以上が「既に補修」もしくは「補修予定」となっています。(4ページ)
- 住みたい場所の理由は「住み慣れた地域を離れたくない」、「生活するのに便利」、「津波被害を受けたくない」が多くなっています。(4ページ)
- 住みたい場所と考えている住まいをクロス集計すると、「同じ場所」で「既に補修」が最も多く、約30%となっています。(4ページ)

ウ：震災前の住まいの種類

	全体		藤原	
	回答数	割合	回答数	割合
持ち家	2,639	82.5%	134	74.4%
借家	225	7.0%	22	12.2%
共同住宅	218	6.8%	19	10.6%
公営住宅	26	0.8%	0	0.0%
その他	41	1.3%	4	2.2%
無回答	51	1.6%	1	0.6%
計	3,200	100.0%	180	100.0%

エ：住まいの被害

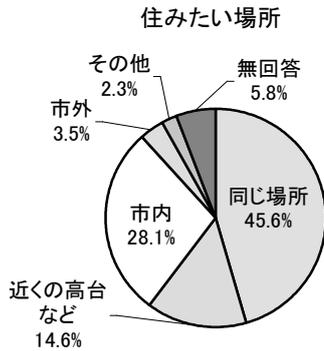
	全体		藤原	
	回答数	割合	回答数	割合
流出	853	26.7%	7	3.9%
全壊(2階以上浸水)	307	9.6%	2	1.1%
全壊(1階天井まで浸水)	524	16.4%	35	19.4%
大規模半壊	408	12.8%	70	38.9%
半壊	305	9.5%	39	21.7%
一部損壊	147	4.6%	14	7.8%
その他	83	2.6%	4	2.2%
被害なし	500	15.6%	9	5.0%
無回答	73	2.3%	0	0.0%
計	3,200	100.0%	180	100.0%



ア-1:住みたい場所

	全体		藤原	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ場所	990	36.7%	78	45.6%
近くの高台など	753	27.9%	25	14.6%
市内	639	23.7%	48	28.1%
市外	99	3.7%	6	3.5%
その他	72	2.7%	4	2.3%
無回答	147	5.4%	10	5.8%
計	2,700	100.0%	171	100.0%

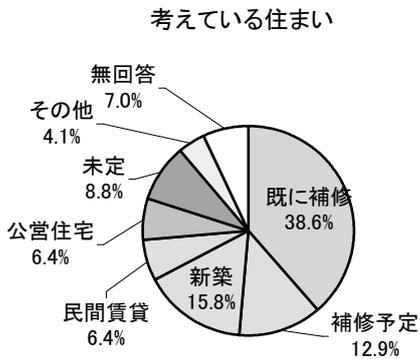
※[問2エ]の「被害なし」を除いた  
2,700人(藤原171人)を対象



ア-2:考えている住まい

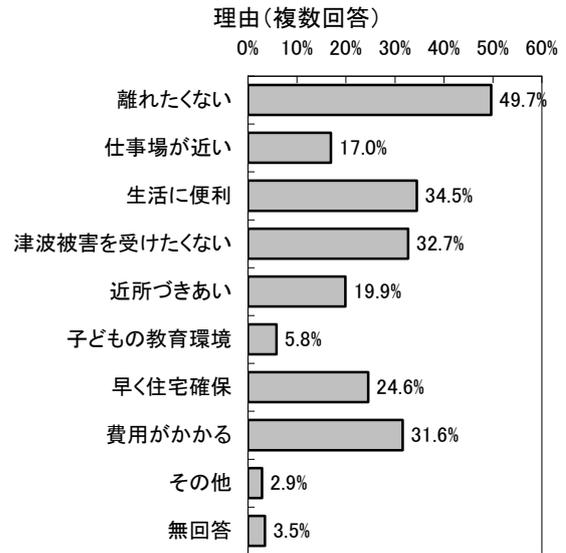
	全体		藤原	
	回答数	割合	回答数	割合
既に補修	488	18.1%	66	38.6%
補修予定	269	10.0%	22	12.9%
新築	811	30.0%	27	15.8%
民間賃貸	89	3.3%	11	6.4%
公営住宅	176	6.5%	11	6.4%
未定	486	18.0%	15	8.8%
その他	82	3.0%	7	4.1%
無回答	299	11.1%	12	7.0%
計	2,700	100.0%	171	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた  
2,700人(藤原171人)を対象



イ:理由(複数回答)

	全体		藤原	
	回答数	割合	回答数	割合
離れたくない	1,441	53.4%	85	49.7%
仕事場が近い	442	16.4%	29	17.0%
生活に便利	871	32.3%	59	34.5%
津波被害を受けたくない	1,037	38.4%	56	32.7%
近所づきあい	640	23.7%	34	19.9%
子どもの教育環境	229	8.5%	10	5.8%
早く住宅確保	812	30.1%	42	24.6%
費用がかかる	797	29.5%	54	31.6%
その他	121	4.5%	5	2.9%
無回答	143	5.3%	6	3.5%
計	6,533		380	



住みたい場所×考えている住まいのクロス

藤原 住みたい場所	考えている住まい								計
	既に補修	補修予定	新築	民間賃貸	公営住宅	未定	その他	無回答	
同じ場所	49 28.7%	19 11.1%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.8%	2 1.2%	4 2.3%	78 45.6%
近くの高台など	5 2.9%	1 0.6%	8 4.7%	1 0.6%	4 2.3%	4 2.3%	1 0.6%	1 0.6%	25 14.6%
市内	6 3.5%	2 1.2%	17 9.9%	6 3.5%	6 3.5%	7 4.1%	2 1.2%	2 1.2%	48 28.1%
市外	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	2 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	2 1.2%	6 3.5%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	1 0.6%	4 2.3%
無回答	6 3.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	1 0.6%	0 0.0%	2 1.2%	10 5.8%
計	66 38.6%	22 12.9%	27 15.8%	11 6.4%	11 6.4%	15 8.8%	7 4.1%	12 7.0%	171 100.0%

### (3) 今後の不安、備えについて

問4：これからの暮らしにおいて、不安なことについてお聞かせください。

問5：あなた自身で、今回の震災をきっかけに今後どのような備えをしたいと思いますか。

- 今後の不安としては、「余震や二次災害が不安」が約62%と多く、次いで「震災前の収入を得られるかなど生活の自立」、「医療・介護施設利用が不便になること不安」となっています。
- 今後の備えとしては、「非常時持出袋等の準備」、「家族で避難場所、避難ルートの話し合い」が多くなっています。

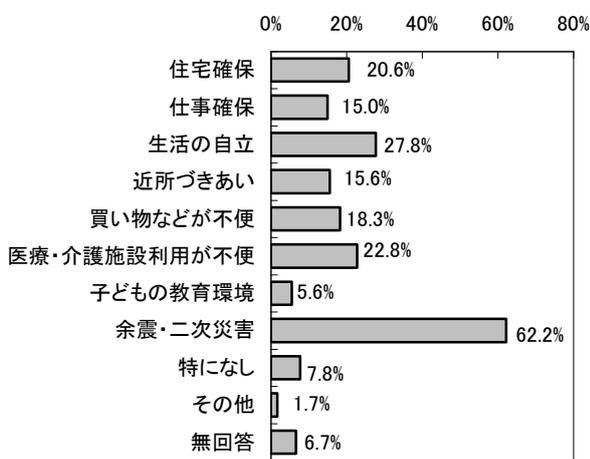
問4:これからの不安(複数回答)

	全体		藤原	
	回答数	割合	回答数	割合
住宅確保	1,208	37.8%	37	20.6%
仕事確保	551	17.2%	27	15.0%
生活の自立	947	29.6%	50	27.8%
近所づきあい	526	16.4%	28	15.6%
買い物などが不便	806	25.2%	33	18.3%
医療・介護施設利用が不便	817	25.5%	41	22.8%
子どもの教育環境	310	9.7%	10	5.6%
余震・二次災害	1,705	53.3%	112	62.2%
特になし	154	4.8%	14	7.8%
その他	104	3.3%	3	1.7%
無回答	173	5.4%	12	6.7%
計	7,301		367	

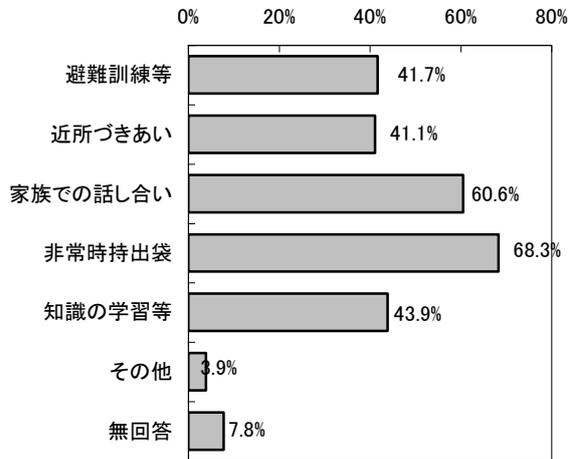
問5:今後の備え(複数回答)

	全体		藤原	
	回答数	割合	回答数	割合
避難訓練等	1,298	40.6%	75	41.7%
近所づきあい	1,406	43.9%	74	41.1%
家族での話し合い	2,043	63.8%	109	60.6%
非常時持出袋	1,970	61.6%	123	68.3%
知識の学習等	1,502	46.9%	79	43.9%
その他	128	4.0%	7	3.9%
無回答	333	10.4%	14	7.8%
計	8,680		481	

これからの不安(複数回答)



今後の備え(複数回答)



### (4) 復興に向けた今後の施策について

問6：現在、宮古市では復興に向けた計画づくりに向け、次の3つの分野で施策の検討を進めています。「すまいと暮らしの再建」「産業・経済復興」「安全な地域づくり」それぞれの分野について、大切であると思うことは何ですか。特に、当てはまるもの3つまでの番号を記入してください。また、施策に対するお考えや提案などがありましたらお書きください。

- 「すまいと暮らしの再建」に関しては、回答者の半数以上が「経済的な支援など生活再建に向けた取り組み」を選択し、次いで「住宅再建への支援など住まいの確保」や「雇用の

場の確保」、「医療体制の確保」が多くなっています。

- 「産業・経済復興」に関しては、「(施設の復旧、生産者支援、魚市場整備等の) 漁業振興に向けた取り組み」が高い割合となり、「(生産施設の復旧、生産者支援、地産地消等の) 農林業振興」、「商業・サービス業の振興」、「製造業の振興」も多くなっています。
- 「安全な地域づくり」に関しては、「防潮堤や湾口防波堤等のハード整備に向けた取り組み」と「(道路や公共交通の再整備など災害に強い) 交通網の形成に向けた取り組み」が多くなっており、ハード整備の取り組みが求められています。

ア: すまいと暮らしの再建(複数回答)

	全体		藤原	
	回答数	割合	回答数	割合
経済的な支援等	1,706	53.3%	98	54.4%
住宅再建支援	1,717	53.7%	79	43.9%
健康の維持	443	13.8%	31	17.2%
医療体制の確保	1,067	33.3%	63	35.0%
児童・生徒の心のケア	239	7.5%	12	6.7%
学校教育環境の整備	370	11.6%	12	6.7%
生涯学習等の環境整備	137	4.3%	8	4.4%
雇用の場の確保	1,139	35.6%	63	35.0%
地域コミュニティ	421	13.2%	23	12.8%
無回答	433	13.5%	27	15.0%
計	7,672		416	

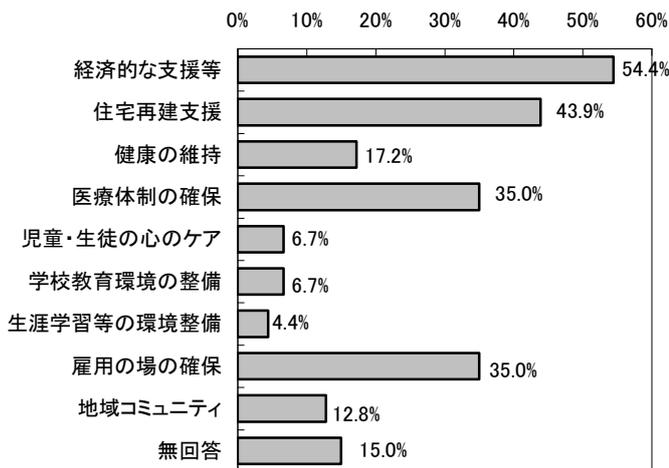
イ: 産業・経済復興(複数回答)

	全体		藤原	
	回答数	割合	回答数	割合
農林業振興	967	30.2%	50	27.8%
漁業振興	1,522	47.6%	69	38.3%
製造業振興	815	25.5%	44	24.4%
商業・サービス業振興	881	27.5%	47	26.1%
観光振興	467	14.6%	33	18.3%
港湾振興	489	15.3%	21	11.7%
産業創出	689	21.5%	38	21.1%
事業創出	438	13.7%	19	10.6%
無回答	746	23.3%	48	26.7%
計	7,014		369	

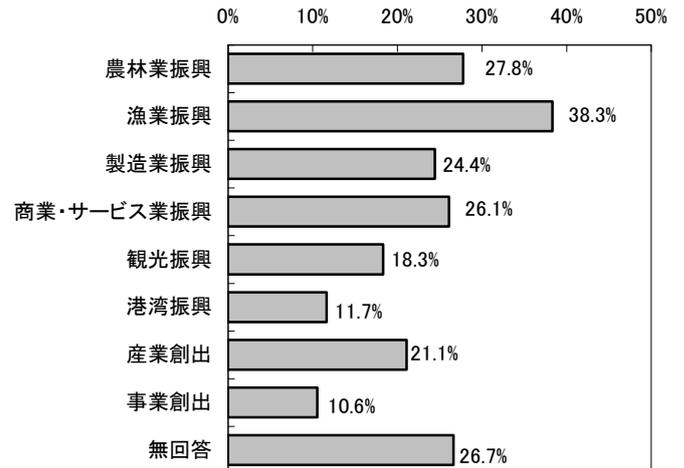
ウ: 安全な地域づくり(複数回答)

	全体		藤原	
	回答数	割合	回答数	割合
防波堤等	1,838	57.4%	107	59.4%
交通網整備	1,717	53.7%	91	50.6%
土木施設復旧	1,361	42.5%	70	38.9%
地域防災力	444	13.9%	22	12.2%
情報伝達・避難計画	872	27.3%	59	32.8%
災害記憶継承	277	8.7%	15	8.3%
自然エネルギー	545	17.0%	35	19.4%
無回答	515	16.1%	24	13.3%
計	7,569		423	

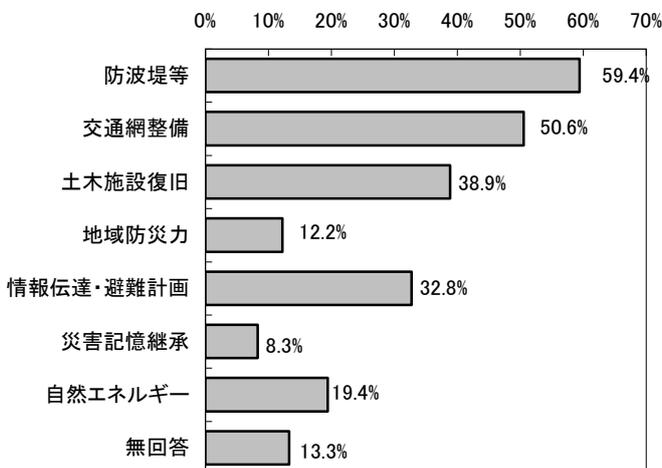
すまいと暮らしの再建(複数回答)



産業・経済復興(複数回答)



安全な地域づくり(複数回答)



## ■ 主な自由意見（原文要約）

- ・ 住まいとくらしの再建に関して、「住宅を建てるための土地の不足」、「雇用の確保」、「子どもたちへのケア」などについての意見があります。
- ・ 産業・経済復興に関して、「漁業の復旧」、「観光の振興」などについての意見があります。
- ・ 安全な地域づくりに関して、「防潮堤の整備」、「避難場所や避難路のありかた」、「防災無線の整備」などについての意見があります。
- ・ その他として、「支援のあり方」、「早急な計画策定への要望、計画に関する情報提供」などについての意見があります。

住まいとくらしの再建について	
1	新築をする予定だが、安全な場所の宅地がない。あつたとしても高額すぎて購入ができない。
2	家を修理しても、また津波が来ることを考えると悩みが大きい。
3	災害復興住宅の早期完成と入居者希望者が確実に入居できるようにしてほしい。
4	せっかく造った仮設住宅なので、できるだけ長く住めるようにしてほしい。
5	現在の宮古市には仕事が少ない。雇用の拡大が宮古市の復旧につながる。
6	職を失った方が多くいるので、一日も早い雇用の確保が必要。
7	住宅だけでなく、事業用資材(車両)などにも援助してほしい。
8	子供達の心のケア、安全確保にも力を入れ、安心した生活を送れるようにしてほしい。
9	仮設住宅が作られ、子供達が思いきり遊べる場所、運動できる場所がなくなり残念。
10	身動きの出来ない寝たきりの人を避難させる所が無く、電気や水道が止まったため、介護が困難になった。
産業・経済復興について	
1	宮古は漁業を取ったら何にもない。とりあえず養殖関係の復活を急いでほしい。
2	宮古市は漁業、観光で今までできたので、これからも大事だと思う。
3	「浄土ヶ浜」の復活により、観光客が訪れ、震災前の宮古を早く取り戻すことが全ての産業そして、宮古の復興につながると思う。
4	工住混在地域は良好な生活環境を保てない。専用地域の指定により集約化して配置することが必要。
5	街の中心部で信号が復旧していなく、解体ばかりでさみしい。
安全な地域づくりについて	
1	藤原・磯鶏地域にはそばに山があり、山を切り開き団地にすべき。
2	破堤した閉伊川河口の防潮堤を早期に復旧してほしい。その際、港湾側と高さを合わせてほしい。
3	藤原地区には避難場所がないので、ぜひ高台に天候、季節に関係なく避難できる場所がほしい。
4	他都市の避難タワーを参考にすべき。
5	各地域に5階建てぐらいの防災センターをつくり、その中に消防団、地域の自治会、その他各種の会を集合させてはどうか。
6	避難の時 JR 線路を越えた高台に安全に逃げやすくするように、上がり道がほしい。
7	防災無線が聞き取れない場所があり、設置場所の再点検が必要。
8	無職の方、年金生活者の方でも移転が可能な制度や枠組をあらかじめ提案して進めてほしい。
9	現在の宮古は1つ1つが離れていて不便である。高度成長期の車社会は終わって一人暮らしの年寄りが増える中、手の届く範囲で用が全て済む都市づくり、まちづくりをしてほしい。
その他	
1	支援物資が平等に支給されず残念。被災のレベルに応じた支援金が必要。
2	罹災証明の発行の件で、あらかじめの調査がなく、自己申告だったために、不公平が生じている。
3	若い世代が宮古市を復興させるためにも、早く支援策を決定してほしい。
4	長期的な視点、多面的な見方で復興に取り組んでほしい。
5	市の復興計画等の情報を早急に市民に知らせてほしい。
6	形だけの市民からの意見聞き取りだけでなく、住民の意見を反映しやすい仕組みを作るべき。
7	復興計画はもっとスピード感が必要。

MEMO

A large rectangular area with rounded corners, containing numerous horizontal dashed lines for writing.